



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Toya-Uusu
UNESCO
Global Geopark

ジオパーク・ストーリーカードの製作

北海道 洞爺湖町／洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

中谷麻美、武川正人、田仁孝志（北海道洞爺湖町役場ジオパーク推進課）
加賀谷にれ、畠吉晃（洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会）佐々木真由子（シトカ）



1. 製作の経緯

「変動する大地との共生」をテーマとする洞爺湖有珠山ジオパークでは、火碎流台地で収穫される農産品や、噴火湾でとれる海産物を「ジオの恵み」と捉えてきた。

洞爺湖町では**大地と產品のつながり**をPRし、地域産品の価値を高める手段として、独自に16種類の「ジオパーク・ストーリーカード」を製作。また協議会でも各市町を代表する産品4種類をカードにし、合計20種類が完成している。

産物を
アップ！

大地の特徴を
イラスト化

使用色は
3色まで！



2. カードの特徴

- ① 絵本※と共に通のイラスト作家
⇒ 写真では表せない**大地の特徴を表現**
- ② 説明
⇒ 100字程度（長いと読まれない）
- ③ 使用方法
⇒ 書く・飾る・送る など

絵本：洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会発行『11万年のうえの1日』(2014.3)

ジオパーク・ストーリーカード

物語は
100字程度

もちろん
英訳つき

2016より
FSC認証※



4. 効果・改善点

- ・大地の成立いや特徴が多種の産品を育むということがわかりやすく伝わり、これまで**地学に興味を示さなかつた層**が、このカードをきっかけにして、**話を聞いてくれるようになった**。
- ・地元の販売店でも商品の価値を少しでも上げたいと積極的に使用されている。
- ・ジオパークの詳細情報を求める人が多いため、情報量を増やしたカード配布用のパンフレットを企画中。
- ・洞爺湖町では、山陰海岸ジオパーク・豊岡市の鞆工場と連携して製作したオリジナルエコバッグと併せてPRに使用。風景がプリントされたバックに旬の産物を入れて持ち歩いてもらっている。

3. 使用方法

- ・商品販売時のPR
- ・ふるさと納税の返礼品に同封
- ・ジオパークイベント時に配布
- ・道内大手菓子店との共同企画に使用
(2017.12～?)



5. まとめ

ジオパークは、住民自らが地学的な特徴を活用してまちづくりを行いうものである。地域の良さをどう生かしていくかを考え実行していくのは、主人公である住民自身であり、行政・研究者はそのサポートを担う立場である。このような取組方針が評価され、洞爺湖町では2015・2016年に地方創生加速化交付金事業の採択を受け、カードを製作することができた。洞爺火碎流台地や噴火湾の恵みは、大地の特徴を活かして生産される「ジオの恵み」であり、その価値をジオパークを通じて伝え、広め続けていくことが重要であると考える。

オリジナルエコバッグの図柄は「洞爺湖西岸の高台」「りんご畑」「洞爺温泉」「噴火湾」の4種類。
シリアルNo.が付いた限定品として製作。

